米づくり技術情報 No. 5

茎数は十分確保!速やかに中干し! 草刈りの徹底で斑点米カメムシ類被害を防止!

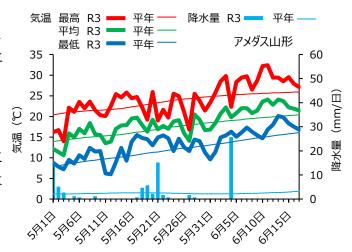
山形おいしさ極める!米づくりプロジェクト本部

◎ 気象概況

6月4日にまとまった降雨がありましたが、6月は高温・少雨で、日照時間は平年より多く推移しています。

◎ 生育概況

6月18日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、平年と比べて、草丈は並み、茎数は多く、葉数、葉色は並みとなっています。



平坦部「はえぬき」の生育(6月18日)

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	33.7 cm	33.2 cm	102 並み	
茎数	455 本/m²	426 本/m²	107 多い	
葉数	7.9 枚	7.7 枚	0.2 並み	
葉色(SPAD)	40. 7	39.8	0.9 並み	

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

6月17日発表の1か月予報(6月19日~7月18日)では、気温、降水量、日照時間は、ほぼ平年並みとなっていますが、曇りや雨の日が多く、6月26日から7月2日の週は気温が高まると予報されています。

茎数は、十分確保されています。<u>速やかに中干しに入り、しっかり生育を制御しましょう。</u>一方で、生育が遅れているほ場が一部で見られます。まずはほ場に行って、生育の状況を確認しましょう。

(1) 作溝・中干し ~遅れずに実施~

茎数が470~500本/㎡となったほ場は、<u>直ちに中干し</u>を行って、生育を制御しながら良質で充実した茎を確保し、穂肥がしっかり行える稲姿にしていきます。また、中干しの効果を高めるため、作溝をしっかり行いましょう。

中干しは、ほ場に小ヒビが入る程度を目安としますが、平年より生育量が大きい場合や、葉色が濃い場合などは強めに行います。なお、大きなヒビが入るほどの強い中干しは、根を痛めて逆効果となる場合があるので注意が必要です。

(2) 生育が遅れているほ場は、有効茎をしっかり確保 ~浅水管理で分げつ促進~

生育が遅れ、茎数が不足しているほ場では、引き続き水深2~3cmの浅水管理とします。かん水はできるだけ朝晩に行い、日中は止水して分げつを促進します。

土壌の異常還元(ワキ)の影響で、茎数が不足し、葉色が低下しているほ場では、 直ちに夜間落水や田干しを行い、根圏環境の改善を図り、6月中に有効茎を確保しま しょう。

また、穂肥前には中干しを終了できるよう、遅くとも7月に入ったら中干しに入りましょう。

(3) 病害虫対策 ~葉いもち発生に注意! カメムシ対策の徹底!~

今年は、平年より早く葉いもちが本田で確認されています。今後も、いもち病感染に好適な気象条件の日が多くなると見込まれることから、ほ場の観察をしっかり行い、葉いもちの早期発見、早期防除を徹底します。

県病害虫防除所の発生予察情報によると、斑点米カメムシ類の発生が平年より「やや多い」と予想されています。地域ぐるみで畦畔及び農道等の草刈りを励行し、斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めます。

(4) 直播栽培 ~作溝・中干しで倒伏防止~

湛水直播栽培においては、茎数が400~480本/㎡になったら、速やかに落水して作 溝・中干しを行います。特に、鉄コーティング直播栽培の場合は、表面播種のため分 げつが出やすく、茎数過剰になることがあります。中干しで、適正な茎数となるよう しっかり生育制御を行うとともに、地耐力を高めましょう。

* つや姫 生育情報

6月18日現在の「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈はやや長く、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色は並みとなっています。有効茎(410~440本/㎡)が確保されたほ場が多くなっていますので、速やかに作溝・中干しを行いましょう。茎数が不足しているほ場では、6月中は引き続き浅水管理を継続し、茎数の確保に努めます。ほ場をよく観察して、生育に合わせたきめ細かな栽培管理で、穂肥がしっかり行える稲姿にしましょう。

「つや姫」の生育(6月18日)

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	35.8 cm	34.1 cm	105	やや長い
茎数	446本/m²	396 本/ m^2	113	多い
葉数	8.1 枚	7.7 枚	0.4	やや多い
葉色(SPAD)	40.4	40. 1	0.3	並み

[※]各農業技術普及課の調査結果を平均した値

農作業事故と熱中症に十分注意してください』

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を!

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう!

農薬危害防止運動実施中